



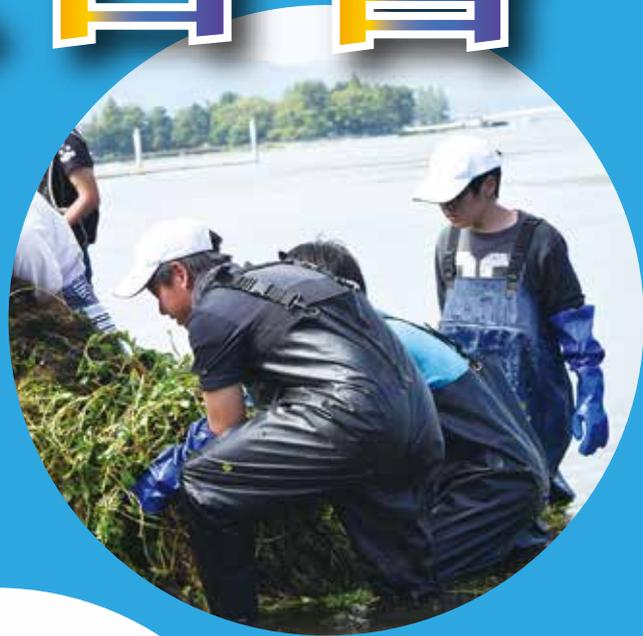
2015 年度

平和堂財団環境保全活動助成事業

<http://natsuhara-g.com>



夏原グラント 活動報告書



琵琶湖およびその流域の自然環境の保全活動を応援します

主催 公益財団法人 平和堂財団

協賛 株式会社 平和堂

ごあいさつ

公益財団法人平和堂財団は、2012年に平和堂財団環境保全活動助成事業「夏原グラント」を創設して、NPO法人、市民活動団体、学生団体等が行う琵琶湖およびその流域の自然環境の保全活動に対して助成を開始しました。

2015年度は40団体からの新規応募がありました。夏原グラントとして4年目となり「新規」「継続2年目」「継続3年目」に加え、継続3年後に「ステップアップ助成」を創設し、1団体が環境保全活動と基盤強化への取組みを行うこととなりました。

また、環境保全の専門家による講座の開催や、例年通り応募を検討している団体対象の事前相談会も行いました。

このたび、2015年度の事業が終了し「平和

堂財団環境助成金事業 夏原グラント活動報告書」をお届けします。滋賀県・京都府内の環境に関わる多様な活動について49団体の成果を、本冊子でご報告させていただきますので、ご高覧いただければ幸いです。

公益財団法人平和堂財団



目次

助成金の概要、選考基準、スケジュール、選考委員	1 P
応募状況、事前説明会、環境保全講座	2 P
公式サイト、平和堂店舗用冊子、贈呈式記念写真	3 P
2015年度 助成事業・団体一覧表	4～5 P
事業報告 新規採択17団体	6～11 P
コラム「ロゴマークとリンクバナー」	11 P
事業報告 継続2年目18団体	12～17 P
事業報告 継続3年目13団体	18～22 P
事業報告 ステップアップ1団体	22 P
コラム「表紙・裏表紙の写真の紹介」	22 P
活動のアルバム	23 P
表彰された団体の紹介	24～25 P

助成金の概要

●名称

平和堂財団環境保全活動助成事業「夏原グラント」
※グラント「grant」＝助成金

研究活動。ただし、調査研究活動は実践活動に結びつくものとし、学術的な活動は対象としません。

●対象となる事業

この助成金の対象となる事業は、滋賀県内・京都府内で実施される水質保全、森林・里山保全、水源の森保全、河川や湖等の環境保全、生物多様性維持等、内容が先進的で他の団体のモデルとなるものです。

- (1) 環境保全に関する実践活動
広く市民の参加を得て行い、活動の普及が期待される水質保全活動・河川環境保全活動、その他自然環境の保全に関する実践活動
- (2) 環境保全に関する教育啓発・人材育成活動
広く市民を対象とする環境保全に関するイベントの実施、学習会の開催、その他環境保全に関する啓発、知識の普及、人材育成の活動
- (3) 環境保全に関する調査研究活動
(1) または (2) の活動推進に資する調査

●助成金の対象となる団体

事務所を滋賀県内・京都府内に有するか、または滋賀県内および京都府内で活動している環境保全活動に取り組んでいるNPO法人、市民活動団体、または学生団体

●助成金の額

- (1) NPO法人、市民活動団体
1件あたり上限50万円
- (2) 学生団体
1件あたり上限30万円

選考基準

- (1) 滋賀県内・京都府内の環境保全や地域創造に寄与すると認められること。
- (2) 他の団体のモデルとなるような先進的なテーマ設定や事業展開が期待されること。
- (3) 県民・府民の自主的な環境保全活動につながる波及効果が期待されるなど、成果が広く市民に還元されること。
- (4) 適切かつ効果的な事業手法がとられていること。

スケジュール

2014年	11月26日	説明会・事前相談会の開始
	12月1日	募集開始
2015年	1月31日	募集締め切り
	3月上旬	第1次選考会
	3月下旬	第2次選考会・公開プレゼンテーション
	4月25日	贈呈式（クサツエストピアホテル）
	4月1日から翌3月31日まで	各団体の助成金事業実施期間



2015年度 募集要項

選考委員

仁連 孝昭	滋賀県立大学 名誉教授
内田 香奈	きょうとNPOセンター 副統括責任者
西野 麻知子	びわこ成蹊スポーツ大学 教授
山田 脩治	株式会社 ヤマプラ 代表取締役
脇田 健一	龍谷大学 教授

(敬称略・順不同・2015年度当時)

応募状況

新規事業応募数	40事業	うち採択17事業
継続（2・3年目）事業応募数	34事業	うち採択31事業
ステップアップ応募数	3事業	うち採択1事業
助成総額		13,910,000円
団体の活動分野	実践活動	49団体
	調査研究活動	1団体

*実践も併せて行うため重複

説明会と事前相談会

「夏原グラント」への応募を考えている団体のみなさまを対象に、説明会と事前相談会を同日開催しました。説明会では応募に関する説明と質問にお答えし、修了後は個別の相談に対応しました。応募書類の書き方、アピールできる事業企画書の書き方のポイントや、予算書の書き方、公開プレゼンテーションのコツなどについての質問がありました。相談には夏原グラントの運営を担っている、しがNPOセンターのスタッフがあたりました。

- 開催日 11月26日（水） 大津市市民活動センター（滋賀県）
 11月30日（日） 近江八幡市勤労者福祉センター・米原公民館（滋賀県）
 12月6日（土） 文化パルク城陽・かめおか市民活動推進センター（京都府）

環境保全講座

この講座は助成団体だけでなく、実際に保全活動に取り組んでいる団体やこれから取り組んでいこうとする方を対象に、生態系に配慮した環境保全活動の「理論」と「実践」について、第一線でご活躍の講師をお迎えして参加無料で開催しました。

- 第1回 6月26日（金）
 「生態系に配慮した環境保全活動
 ～理論を学ぼう～」
 講師：野間直彦さん
 （滋賀県立大学環境科学部准教授）
 里山を保全するとはどのようなことなのか、環境保全の基本について伺いました。

- 第2回 7月3日（金）
 「生態系に配慮した環境保全活動
 ～実践活動から考える～」講師：青木 繁さん
 （グリーンウォーカークラブネイチャーガイド研究所代表）
 かつては里山は、すでに人手が加わり破壊された後の自然だと、軽く見られる場合がありました。しかし生物多様性という視点から、里山にも大きな価値が見出されるようになったことなど、実践をテーマにしたお話を伺いました。



公式サイト

- 夏原グラント公式サイト
<http://www.natsuhara-g.com/>

夏原グラントの概要や助成の実績など、詳しく掲載しています。

応募前のQ&A、また、事業実施中でのQ&Aも掲載し、応募前から修了後までいねいな対応を心がけています。募集要項、申請書類、採択団体となってから使用していただくロゴマークなどがダウンロードできます。

プロジェクト活動レポートのコーナーでは、事務局スタッフが活動の現場を取材させていただき、豊富な写真とともに紹介しています。

ぜひアクセスしてください。



平和堂店舗等用冊子

2013年度初めて作成した、この冊子。夏原グラントを環境保全や市民活動に関心のある人だけでなく、もっと広く多くの人に知ってもらうための広報ツールとして働いてくれました。

2014年度も引き続き、助成事業の内容について各団体からの紹介文と活動の写真を入れて同じA5サイズで発行しました。表紙のイラストは前年度と同じですが、背景の色をオレンジからグリーンにしています。平和堂大型店舗20店に100部ずつ、ほかにも自然関連施設などに配布。

助成団体の中には表彰されたところもあり、それを紹介するコーナーも設けました。



贈呈式記念写真



「夏原グラント」第4回助成金贈呈記念交流会 2015年4月25日 クサツエストピアホテル

2015 年度採択事業紹介

2015年度に夏原グラントの助成を受けた団体の活動をご紹介します。「夏原グラントで実施した事業の紹介」「環境や地域への貢献」「助成金が活きたと思う点」の3つについてお聞きしました。

新規17事業、継続2年目18事業、継続3年目13事業、ステップアップ（継続4年目）1事業の計49事業を掲載しています。

※右端の「P」欄は掲載ページ



2015 年度助成団体一覧

新規助成 17 事業

地域	事業名	団体名	P
滋賀	余呉湖周辺の保全・緑化の推進	一般社団法人 湖北水源の郷づくり	6
滋賀	松尾寺山の里山整備活用事業	松尾寺山登山道保存会	6
滋賀	里山保全・整備活動	総山管理委員会	6
滋賀	白鳥川流域の生物多様性と好循環社会へのモデル取組	白鳥川の景観を良くする会	7
滋賀	日本百名城「観音寺城石垣」整備プロジェクト	近江八幡市豊かな杜づくり隊	7
滋賀	未来のびわ湖人育成のための学習支援事業	滋賀大学「環境学習支援士」会	7
滋賀	非農家に適した農法判断の実験と適用	お野菜大学	8
滋賀	ぼてじゃこトラスト次世代人材育成事業	ぼてじゃこトラスト	8
滋賀	びわ湖流域赤シソ栽培ネットワーク事業 "Team Hira Perilla"	一般社団法人 比良里山クラブ	8
滋賀	低農業・無農薬野菜と 環境こだわり米による地産地消の仕組みづくり	龍谷大学 北船路米づくり研究会	9
滋賀	未来に続く生物多様性の森育成事業	びわ湖りす森倶楽部	9
京都	里山いきものがたり	里山の暮らし ECO TASK TEAM	9
京都	鴨川生き物調査	特定非営利活動法人 ピオトープネットワーク京都	10
京都	森林・林業の多角的な体験・学習を通じた人材育成	特定非営利活動法人 京都・森と住まい百年の会	10
京都	遊休・休耕農地や放置森林等の再生・管理事業	特定非営利活動法人 オーガニック土の塾	10
京都	西山古道の自然環境保全に関する実践活動	特定非営利活動法人 京おとくに・街おこしネットワーク	11
京都	三川合流地点（木津川・宇治川・桂川） 八幡市男山展望台周辺的环境整備事業	八幡市里山再生協議会	11

継続2年目助成 18 事業

地域	事業名	団体名	P
滋賀	伊吹山自然再生・保全事業	伊吹山ネイチャーネットワーク	12
滋賀	中世城跡（鎌刃城）から里山再生	番場の歴史を知り明日を考える会	12
滋賀	今だからこそ、びわ湖のために石けんについて学び推進する事業	愛のまちエコライフ	12
滋賀	BDFをつくる・楽しむ・広げる 高校生プロジェクト	特定非営利活動法人 菜の花プロジェクトネットワーク	13

地域	事業名	団体名	P
滋賀	親子の食育菜園～はたけっこ～	特定非営利活動法人 百菜劇場	13
滋賀	平和川・黒橋川をきれいにする事業	金田学区まちづくり協議会	13
滋賀	河川環境美化作戦	竜王清流会	14
京都	棚田保全ボランティア活動	熊野・棚田を育てる会	14
滋賀	チェーンソーと軽トラで山を元気に！町を元気に！ 「甲賀木の駅プロジェクト」	甲賀木の駅プロジェクト運営委員会 (甲賀愛林クラブ)	14
滋賀	琵琶湖を守る「いきものみつけファーム滋賀」	山内エコクラブ	15
滋賀	大学生の力で外来水生植物から琵琶湖を取り戻そう	特定非営利活動法人 国際ボランティア学生協会 IVUSA	15
滋賀	街中美化運動はなのみち	街中美化運動はなのみち	15
滋賀	里山体験隊 2015	特定非営利活動法人 絵本による街づくりの会	16
京都	水源の里「古屋」の宝物再発見	古屋集落自主応援組織 「古屋でがんばろう会」	16
京都	台風 18 号 (2013 年 9 月) により倒壊した思子淵神社の再建プロジェクト	大見新村プロジェクト	16
京都	いかだに乗ってみよう ～山・川・まちのつながり～	特定非営利活動法人 プロジェクト保津川	17
京都	はれざの森の再生と涵養 ～カブトムシの棲む森へ～	特定非営利活動法人 おとくにパオ	17
京都	古川クリーンキャンペーン	古川を美しくする会	17

継続3年目助成 13事業

地域	事業名	団体名	P
滋賀	山門水源の森の生物多様性の保全と獣害対策	山門水源の森を次の世代に引き継ぐ会	18
滋賀	余呉トレイル林道整備事業	余呉トレイルクラブ	18
滋賀	カスミサンショウウオの保護に向けた生息場所（保護池）設置事業	田村山生き物ネットワーク	18
滋賀	「綿づくり」を通して「人の輪」を広げよう	おうみこっとな夢つむぎ	19
滋賀	環境保全に関する教育啓発、人材育成活動	琵琶湖お魚探検隊	19
滋賀	竹林・コナラ林の整備とナラ枯れ地への植樹で里山再生	八幡山の景観を良くする会	19
滋賀	守ろう赤野井湾！オオバナミズキンバイ除去大作戦	認定特定非営利活動法人 びわこ豊穡の郷	20
滋賀	琵琶湖と暮らしのつながりの再生（みんなで作る！暮らしの体験の場）	特定非営利活動法人 碧いびわ湖	20
滋賀	里山保全及び山林資源の有効利用とその促進事業	市民活動支援 レッツ栗東	20
滋賀	みんなを守るホテルと川	ホテルの学校	21
滋賀	ウォーターステーション琵琶の会 環境啓発活動事業	ウォーターステーション琵琶の会	21
京都	鴨川源流の森林環境保全のための 市民参加型森づくりイベントの実施	理想の森プロジェクト	21
滋賀	ドングリの森作り	久保川と天王山の森を守る会	22

ステップアップ助成1年目 1事業

地域	事業名	団体名	P
滋賀	びわ湖の森の間伐材買取事業	一般社団法人 k i k i t o	22

余呉湖周辺の保全・緑化の推進

一般社団法人 湖北水源の郷づくり

活動場所 滋賀県長浜市余呉町川並 余呉湖東側周辺
所在地 滋賀県長浜市余呉町下余呉 1938
設立年 1994年
会員数 役員 10・評議員 13、余呉湖活性化委員会 20名
連絡先 0749-86-8037
HP  Facebook 



「夏原グラントで実施した事業の紹介」

余呉湖周辺に群生する多年生の日本特産植物「サワオグルマ」の保存活動を実施しました。雑草や雑木の繁茂、また獣害により生息範囲が狭まりつつあるため、生育に影響の無い11月を待って雑草の草刈りや雑木の伐採活動を行うとともに、「群生地案内看板」を作成して環境保全の啓発を行いました。

「環境や地域への貢献」

黄色い花が一齐に咲く姿は、昔ながらの余呉湖の春の風景を醸し出しており、今後も保存活動を通して見慣れたこれらの風景を保存していくことが、地域の景観的財産を守り続けることになり、ひいては余呉地域の魅力を発信することにつながると考えています。

「助成金が活きたと思う点」

余呉湖から地域を元気づける取り組みとして、環境保全をテーマにした今回の活動が「夏原グラント助成金」の支援を受けて実施できたことは、財源面での支援はもとより「滋賀・京都での先進的な自然環境保全活動のモデル活動」に採択されたことで、地域や活動に参加された応援者の方々の意識や意欲がより一層高まりました。同時に、取組みの重要性を再認識する機会を設けることができました。

松尾寺山の里山整備活用事業

松尾寺山登山道保存会

活動場所 滋賀県米原市上丹生 2007 番地 周辺
所在地 滋賀県米原市醒井 605 番地
設立年 2009年4月
会員数 約10名
連絡先 0749-54-0120 (夜間 0002)



「夏原グラントで実施した事業の紹介」

近年、里山に人が入らなくなり荒廃が進んでいることから、里山に埋もれる中世の城跡に人々を呼び込み、里山の再生の重要性に気づいていただき保全の行動に移る動きを創り出すため、間伐材を利用した鎌刃城大櫓の復元イベントを子どもたちの参画の下で実施しました。同時に子どもたちの林業体験を実施し、森林保全の重要性について学んでいただきました。

「環境や地域への貢献」

城跡を訪れた人々に、里山の植生の変化や獣害による森林被害などの状況を説明し、里山保全の重要性の理解を深めていただきました。里山や麓では野生獣の被害が深刻で集落と里山が断絶されていましたが、城跡へ人々が足を運ぶ機会が増え、獣(シカ、イノシシ、サル)との緩衝地の効果が出始めました。子どもたちには樹木の伐採や丸太切り等の体験で里山保全と歴史遺産についての理解を深めていただきました。

「助成金が活きたと思う点」

「城跡からの里山再生」は歴史文化と環境の側面を持つ事業ですが、双方がうまくコラボレーションでき、多くの方々に里山への関心を持っていただけたと思っています。自然保護団体とも連携し里山の文化的遺産と自然資源を結び付け、人々に開かれた里山として楽しみながら活用できる方向性が見えてきました。

里山保全・整備活動

総山管理委員会

活動場所 滋賀県彦根市石寺町地先 「荒神山」
所在地 滋賀県彦根市石寺町 1223
設立年 2011年(前団体の荒神山山王会の設立は、2002年)
会員数 約20名
連絡先 090-5886-4222
n-tokio@mx.biwa.ne.jp (西川時男)



「夏原グラントで実施した事業の紹介」

総山は、昔は薫り高い松茸も採れ、燃料・普請用材等として活用されてきました。しかし、生活様式の変化に伴い里山は放置され雑木が生い茂り、加えて松枯れ等により近年無惨な姿となっていました。平成14年より松茸が採れる荒神山の復活と里山再生を目指し、少しずつ活動を行ってきましたが数年前より松枯れが大量に発生し、一昨年より松枯れ木伐倒を主体に里山整備活動を展開しています。夏原グラント助成金を得て、月1回の活動へと整備強化を図っております。

「環境や地域への貢献」

未だ一部の実施ですが、景観保全・森林保全に寄与し、伐倒枯れ松の一部を薪ボイラー等に使用してバイオマス利用も試みています。また、関係団体とのネットワークもできつつあり、今後のまちづくりに生かしていきたいと考えています。

「助成金が活きたと思う点」

整備作業に必要なチェーンソー等の備品や燃料等が調達でき、活動を継続することができました。また整備作業には専門的な知識・技術も必要ですが、お陰で専門の方より指導を受けることができました。

白鳥川流域の生物多様性と好循環社会へのモデル取組 白鳥川の景観を良くする会

活動場所 滋賀県近江八幡市の中央を流れる
白鳥川 J R横から琵琶湖岸まで約 5km
所在地 滋賀県近江八幡市堀上町 2-6
設立年 2006年 2月
会員数 59人 (2016年 4月現在)
HP 
連絡先 Keikan8m@yahoo.co.jp



「夏原グラントで実施した事業の紹介」

当会は 2006年 2月に発足して、お陰様で 10周年を迎えることができました。会員の年齢も同じように 10歳加算され、高齢化してきた会員の除草作業の人的負荷の軽減策として、また市民の方々の癒しの一助として、そして三面張りの無い自然一杯の白鳥川の生物多様性と除草した雑草をそのまま放置していたものから積極的に羊に捕食させ糞は肥料として戻す好循環社会へのモデル取組みとして「羊放牧事業」を始めました。

「環境や地域への貢献」

羊は一頭で一日 15kg 生草を食べると言われています。羊の捕食による除草効果は当初想定より大きく、牧柵を効率よく移動することにより除草効果は高まります。また夏休み期間中でもあり、子ども連れの若い家族が多く来られるようになり、川に親しみ、動物を可愛がり、自然や環境の大切さを啓蒙する機会が作れたと考えます。

「助成金が活きたと思う点」

2012年度から 3年連続で助成金を受けてきましたが、今年度も新規事業として助成金を受けることができ、羊放牧の牧柵などの製作に活用させていただきました。

日本百名城「観音寺城石垣」整備プロジェクト 近江八幡市豊かな杜づくり隊

活動場所 近江八幡市安土町きぬがさ山観音寺城跡周辺
所在地 滋賀県近江八幡市安土町常楽寺 323 木野和也
設立年 2011年 (平成 23年)
会員数 13名
連絡先 0748-46-2755 kaz_kino6@yahoo.co.jp



「夏原グラントで実施した事業の紹介」

日本百名城の「観音寺城」は、安土町石寺にあります。室町時代の守護大名佐々木六角氏のお城です。整備されておらず素晴らしい石垣は樹木と竹に覆われていました。特に「六角氏御屋形跡」の高さ 9m の石垣は樹木と竹で覆われていました。この整備を杜づくり隊で月 1～2回整備を行いました。さらに、秋には、一大プロジェクト「観音寺城大石垣を新幹線から見える化プロジェクト」と銘うって、滋賀銀行・安土産業・団体等の社会貢献のもと 170名で取り組みました。注目されなかった名城が甦りつつあります。

「環境や地域への貢献」

立枯れの樹木を撤去、竹林で覆われたのを伐採して、チップにして、公園化を図り、その場で吹奏楽や歴史講話をしてもらえました。また、古道を整備して、登りやすいように「マイ・階段づくり」をして、山頂の郭まで古道ウォークができるように整備できつつあります。これを、継続していきます。

未来のびわ湖人育成のための学習支援事業 滋賀大学「環境学習支援士」会

活動場所 滋賀県内
所在地 滋賀県大津市平津 2丁目 5-1
(滋賀大学教育学部内 425号室)
設立年 2008年 4月 20日
会員数 36名
連絡先 FAX: 007-537-7821 shienshikai@yahoo.co.jp
HP 



「夏原グラントで実施した事業の紹介」

私たちの事業は、持続可能なびわ湖の豊かな自然を愛し、びわ湖の環境を学び、次の世代に残していくために、自分で考えて行動する未来のびわ湖人として成長していくための、学習サポート事業です。

「環境や地域への貢献」

1年間で「うみのこ」体験学習の事前・事後の学習や身近な川の学習を通して、大津・草津・彦根の小学校 13校に延べ 17回受講児童数約 1,400名実施できました。未来のびわ湖の環境保全を考える児童が増えて、講座を通して積極的な意見や感想を述べています。担当教諭との綿密な意見交換が講座の効果を生んできました。出前授業は、県内の各小学校に広がりを見せてきています。

「助成金が活きたと思う点」

助成金を得て、パンフレットを作成し、本事業を実施することで「びわ湖を考える環境授業」の大切さを、学校の先生方のご意見や児童の反応で再確認できました。びわ湖をかかえる滋賀の環境に対する児童の理解が深まり、将来私たちと共存していけるびわ湖づくりに貢献していけると考えます。

非農家に適した農法判断の実験と適用

お野菜大学

活動場所 滋賀県大津市堂町
所在地 滋賀県大津市堂町
設立年 2014年
連絡先 facebook 



「夏原グラントで実施した事業の紹介」

一般の方に向けて自然農法の普及のための手法開発と、農業体験イベント、意見交換会を実施しました。プランター栽培において、山で作成した堆肥や籾殻を使用することで散水頻度を下げることができました。また、畑でヨガをして農業に触れるイベントや滋賀県内の農家を集めた意見交換会、中国の南京大学の学生との意見交換会も実施しました。

「環境や地域への貢献」

こうした活動を実施している様子を発信することで、農業と食、自然環境への関心を高めるキッカケを作ることができたと考えています。私たちの活動は多くの新聞などのメディアに掲載され、知るだけでなく共感してくださる方もおられました。そうした積み重ねは市民の気持ちを少しずつ変え、自然環境や地域環境の存在の重要性を再認識する気付きとなった、と実感しています。

「助成金が活きたと思う点」

本助成金によって、これまで以上にイベント開催のための備品や環境を整えることができました。意見交換会は国内外の学生と農家が集い、有意義な会になりました。心より感謝しております。

ぼてじゃこトラスト次世代人材育成事業

ぼてじゃこトラスト

活動場所 滋賀県全域
所在地 滋賀県大津市鶴の里 23-6 武田繁方
設立年 1997年
会員数 70家族 150名
連絡先 090-3841-4807(副会長武田繁)
bote1112@zeus.eonet.ne.jp
ブログ 



「夏原グラントで実施した事業の紹介」

当会は2016年1月で20周年を迎えました。その記念すべき年に、「滋賀の川遊び、雑魚釣り文化を次世代につなげよう！」記念フォーラムは参加者約180名と大盛況、当会の活動が広くPRでき、会員の良き思い出となり今後の活動源となりました。

また、ぼてじゃこワンパク塾の子どもたちによる冊子「ぼてじゃこ池の生き物たち」発刊は優秀な子どもたちの人材発掘ができ、子どもリーダーとして幅広い活躍が期待できます。

その他、沖島地引網体験、安曇川アユの人工河川見学、貴重種の繁殖実験、ぼてじゃこ池の改修など多彩な事業が展開できました。

「助成金が活きたと思う点」

会員は、琵琶湖の環境、生態系を学ぶ良き機会となり、滋賀の自然体験の素晴らしさも実感しました。また、外来魚駆除(地引網、釣り2回)ニゴロブナの稚魚放流はわずかながら琵琶湖の環境に寄与できたと思います。

今年度は、規模の大きい、資金のかかる事業が多く、夏原グラントの資金支援があったからこそ実現できたと大変感謝しています。

びわ湖流域赤シソ栽培ネットワークング事業

“Team Hira Perilla”

一般社団法人

比良里山クラブ

活動場所 滋賀県大津市南比良、まほろばの里
所在地 滋賀県大津市横木 2-25-12
設立年 2009年
会員数 7人
連絡先 info@hira-satoyama.net、077-527-2833
HP  Facebook 



「夏原グラントで実施した事業の紹介」

獣害問題を抱える山間農地で、赤シソ栽培に取り組む団体をネットワーク化し、遊休農地拡大に歯止めをかけ、里山環境を保全することを目的とした事業です。当会が事務局となり、SNSを活用した情報交換、各地区の巡回や現場指導を行いました。

4～6月播種・育苗の実習や講習会。7月収穫作業。(収穫した葉は仕入れて製品に加工)10月試飲会、全体報告会を開催。

「環境や地域への貢献」

参加地区の共通点は、中山間地域の農地活用に取り組んでいる点にあります。これまで諦めていた農地で赤シソ栽培を試みたところ、害獣の行動範囲が制約されたことを実感したとの声が多く聞かれました。農地を含む里山の荒廃化にブレーキをかけられるものは、人の意識に他ならないという気づきを、改めて共有することができたと思います。

「助成金が活きたと思う点」

看板制作を含む広報面の充実から、福祉をはじめとする異分野からの連携先が増えました。また、県内の牧場様と共同開発した製品を市場デビューさせ、観光のオプションメニューとして、赤シソ摘みやジュース作り体験のリクエストが出てきたことも大きな成果です。